

さいたま新都心でピンクリボン運動

# 台風にも乳がんにも負けないで 女性たち被災地にエール

今月は乳がん撲滅月間。11月9日に、さいたま市のさいたま新都心駅周辺で、ミニウォークと歌手松本伊代さんの歌とトークのショーの乳がん撲滅イベント(埼玉新聞社など後援)が開かれる。準備に当たる女性たちの中には古里が台風19号の被災地になった人もいる。女性たちは「台風にも負けないで。早期治療で乳がんにも勝とう」とエールを送る。

主催は、ピンクリボン運動推進埼玉真委員会(県、さいたま市などで構成、代表は中村隆俊・戸田中央医科グループ会長)。事務局を担当するのは、中村さんが経営する戸田中央総合病院の若い職員たちだ。

長野市出身の森下舞緒さん(21)は決壊した千曲川の水辺で育った。「テレビのニュースで、知ってる道や学校が写った。母が勤める市立病院は1階が水が浸水して、大変らしい」と古里を心配する。

岩手県花巻市出身の柵山美穂さん(22)がキャップを務めるチームは15人。さいたま市見沼区から通う榎本紘乃さん(21)は「いつも人気の参加賞



ピンクリボン運動で裏方を務める女性たち—  
15日、戸田市の戸田中央医科グループ本部

さん(20)は「今年50歳になる母は10年以上前に別のがんだった。でも今は元気。乳がんは人ごとではない。たくさんの人を救うために役に立ちたい」と言う。

福島市出身の東山千春さん(43)は中2の長男、小6の次男、小4の長女ら3人の母。

「私が乳がんになったら家族が悲しむ。戸田市でピンクリボンウォークをやっていたころから、いい活動してるなって思っ、子どもたちと一緒に参加していた。もっと広げていきたい運動です」。

ミニウォークに先立ち今月26日午後6時から大宮ソニックシティ鐘塚公園で女優生稲晃子さんをゲストに、ライトアップ点灯式とトークショーがある。